

2025年度

韮崎市立病院院内保育所きらきらぼし 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月16日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年1月16日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「思いっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の理念に則り、子ども一人ひとりと十分に向き合い、意見を尊重し保育計画を立て実施した。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達段階を大切にしながら、夜間保育の中でゆったり安心して過ごせるよう、関りを十分に摂るよう努めた。
保護者に対する支援	保護者様が安心してお仕事ができるよう、連絡ノートや送迎時にその日の出来事や出来たことを伝えることで、情報を共有し一緒に成長を喜べるよう心掛けた。
保育を支える組織的基盤	マニュアルの見直しや業務内容の再確認をしっかりと行い、保育の基礎を築いた。子どもにとっての最善の利益とは何かを常に考えるようにした。

総評
<ul style="list-style-type: none">子ども一人ひとりときちんと向き合い、安心して過ごせるような環境作りを心掛けた。年齢幅も大きかったこともあり、それぞれの生活も確保できるよう保育を工夫し進めるようにした。研修やマニュアルなどの見直しを積極的に行い自己研鑽に努め、保護者様にとっても安心して預けられるような取り組みをした。小学生の利用が多かったため、保育園児も一緒になった時にどんな遊びが良いのか課題が見えてきた、参考資料などを用いて遊びの幅を広げていく。

